



ウィリアム・モリス

英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡

2020年11月6日金 ~ 12月20日日

18歳以下無料

9:30~17:00 (入館は16:30まで) 休館日:月曜日 ※ただし11月23日(月・祝)開館、翌24日(火)休館
観覧料:一般:1,100円(1,000円) 大学生:800円(700円) ()内は前売および20名以上の団体

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
※本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

主催/周南市美術博物館、毎日新聞社、tys テレビ山口

後援/山口県、山口県教育委員会、周南市・下松市・光市・田布施町および各教育委員会 企画協力/株式会社ブレントラスト

周南市美術博物館

Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花島町10-16 TEL (0834) 22-8880



<http://s-bunka.jp/bihaku/>

[@Shunan_bihaku](https://twitter.com/Shunan_bihaku)

[@Shunan.bihaku](https://www.facebook.com/Shunan.bihaku)

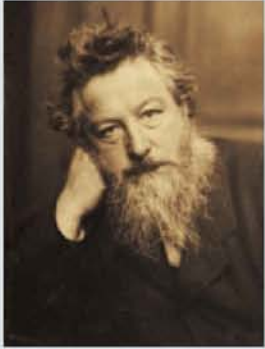


上段左より《クレイ(赤)》1884年 / 《メドウェイ》1885年 / 《小鳥とアネモネ(黄)》1882年 / 中段左より《すいかずら》メイモリス 1883年 / 《兄弟うさぎ(青)》1882年 / 《マリーゴールド(緑)》1875年 / 《いちご泥棒》1883年 / 下段左より《孔雀》
ウォルター・クレイン 1860年代 / 《マロウ(ぎにあおい)》ケイト・フォークナー 1879年 / 《ゴールデン・リリー(白)》ジョン・ヘンリー・ダール 1899年 ※デザイナー名のないものはすべてウィリアム・モリス Photo ©Brain Trust Inc.



William Morris

ウィリアム・モリス (1834-96) は19世紀イギリスを代表する芸術家の一人で、「モダン・デザインの父」とも称されています。彼は手仕事から生まれる自然の美しさを生活の中に取り入れた「アーツ・アンド・クラフツ運動」の先駆者として知られ、そのデザインは150年以上経た今も世界中で愛されています。本展では、彼のデザインのインスピレーション源となった英国の風景を、写真家・織作峰子氏の写真や映像によって紹介し、そこで生まれたテキスタイル・壁紙・家具・書籍など約80点を展示します。



ウィリアム・モリス 肖像写真



織作峰子 写真「赤煉瓦の館」撮影地:レッド・ハウス(※)
モリスと仲間たちの共同作業で完成。これをきっかけに装飾美術を生活に取り入れる活動が始まる。 Photo ©Mineko Orisaku ©Brain Trust Inc. Thanks to the National Trust Red House, Bexley, London.



「世界のかなたの森」ウィリアム・モリス 1894年

ケルムスコット・プレス刊

「書物というものはすべて〈美しい物〉であるべきだ」というモリスの信念のもと、美しい活字で、美しい用紙に印刷され、美しい装丁で製本された。



《いちご泥棒》1883年 デザイン:ウィリアム・モリス
藍以外の色を取り入れた最初のテキスタイル。高度な技術と長い日数が必要とされ、モリス商会が扱う木綿プリントの中では最も高価なものの一つ。



《孔雀》1860年代
デザイン:ウォルター・クレイン

暖炉の衝立《クランフィールド》1890年頃

デザイン:ウィリアム・モリス
刺繍:おそらくメイ・モリス



(※) 以外はすべて Photo ©Brain Trust Inc.

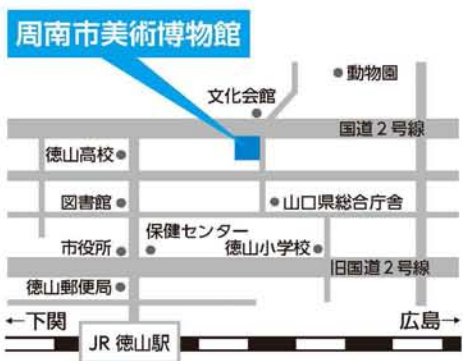
当館では、みなさまに安心してご来館いただけるよう、新型コロナウイルス感染防止の対策を行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

ご協力をお願い

- 体調不良、せき、発熱がある場合は、ご来館をお控えください。
- マスクの着用をお願いします。
- 入館の際は、体温測定にご協力ください。37.5℃以上の方は入館をお断りさせていただきます。
- 入館時には緊急時連絡先のご記入をお願いします。
- ◆来館者が多い場合には、入場制限をさせていただくことがあります。
- ◆団体鑑賞はお受けできない場合があります。

新型コロナウイルスの感染状況により、中止・変更等の場合もあります。最新の情報は、当館ホームページにてご確認ください。

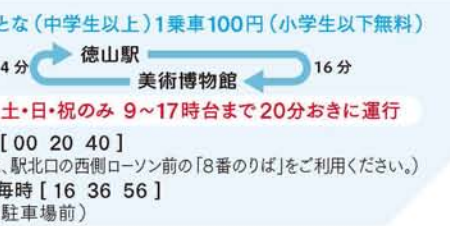
次回展覧会のご案内
2021/1/8(金)～2/23(火・祝)
猪熊弦一郎展(仮称)



交通案内

徒歩 ● JR徳山駅から約20分
車 ● 山陽自動車道徳山東ICから国道2号線を下関方面へ
駐車場 159台
(催し物により他施設と共用となる場合があります。ご了承ください)

美術博物館の
行き帰りに
ちよひ乗り
100円
JR
おとな(中学生以上)1乗車100円(小学生以下無料)



周南市美術博物館
Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花畠町10-16 TEL(0834)22-8880

http://s-bunka.jp/bihaku/
@Shunan_bihaku
@Shunan.bihaku